



マットとジェイスンの——

幸せな結婚

に出会う
1万2千
マイルの旅

Project everlasting

マシュー・ボッグズ&ジェイスン・ミラー 田村源二 訳



【著者】 マシュー・ボッグズ&ジェイスン・ミラー

少年時代からの親友同士。20代半ばの2003年、「結婚して幸せになれるのか?」という疑問への答えを探そうと、全米1万2千マイルの取材の旅、《プロジェクト・エバーラスティング》を開始。40年以上、幸せな結婚を続ける、250組の〈マリッジ・マスター〉に取材するうち、二人は「結婚」に希望と感動と深い知恵を見出す。その経験を、執筆、映画制作、企業や教会などでの講演活動などを通して多くの人々に伝えるなか、プロジェクトはマスコミに取り上げられ話題となり、多くのスポンサーを得る。《プロジェクト・エバーラスティング》のミッションは、「世界に愛を広げよう。まずは一組のカップルから」。もっと知りたい方、2人と連絡をとりたい方は、こちらへ。<http://www.projecteverlasting.com/>

【訳者】 田村 源二（たむら・げんじ）

1947年、東京生まれ。翻訳家。訳書は、T・克蘭シー『日米開戦』（新潮社）、S・ボチコ『デス・バイ・ハリウッド』（文藝春秋）、J・ロビンズ『エコロジカル・ダイエット』（角川書店）、J=M・ペルト『おいしい野菜』（晶文社）、J・フォード『文学刑事サーズデー・ネクスト』（ヴィレッジブックス）など多数。映画誕生前のオプティカル・トイ（視覚玩具）の研究も。

マットとジェイスンの—— 幸せな結婚に出会う1万2千マイルの旅

2008年4月30日 初版第1刷

著 者 マシュー・ボッグズ&ジェイスン・ミラー

Mathew Boggs and Jason Miller

訳 者 田村 源二

発行者 本地川 端祥

発行所 幸福の科学出版株式会社

〒142-0051 東京都品川区平塚2丁目3番8号

TEL (03) 5750-0771

<http://www.irhpress.co.jp/>

装 丁 上平穂人デザイン室

本文DTP制作 株式会社エルプランニング

印刷・製本 中央精版印刷株式会社

落丁・乱丁本はおとりかえいたします

© Genji Tamura 2008. Printed in Japan. 検印省略

ISBN978-4-87688-601-2 C 0030

マットとジェイスンの——

幸せな結婚 に出会う 1万2千 マイルの旅

Two Bachelors Discover the Secrets of America's Greatest Marriages

マシュー・ボッグズ & ジェイスン・ミラー

田村源二 訳

MATHEW BOGGS and JASON MILLER

PROJECT EVERLASTING
Two Bachelors Discover
the Secrets of America's Greatest Marriages
by Mathew Boggs and Jason Miller

©2007 by Mathew Boggs and Jason Miller
Japanese translation rights arranged
with Mathew Boggs and Jason Miller
%o William Morris Agency, LLC, York
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

結婚歴63年のジャックとドロシー◎マーニーン夫妻に捧げる

プロローグ

60代はじめのチャージミグなカップルが、並んで椅子に座っている。インタビューを準備するふたりの若者を見守る夫妻の表情は、穏やかだが訝^{いぶか}しげでもある。若者のひとりがビデオカメラに新品のテープを装填し、もうひとりがノートに書かれた長い質問リストに目を走らせる。

妻が立ち上がって客の若者たちにコーヒーのお代わりをすすめる。夫が咳払いをして、「わたしたちの結婚のことをいろいろ知りたいということだったね?」と訪問者たちに訊く。

「はい、そうです」

「念のためもう一度訊くが、きみたちは結婚セラピストかね?」

「いえ、違います」

「では、研究のための調査をしているのかね?」

「違います」

「でも、本を書く……」

「はい」

「結婚はしているんだろう？」

「いえ、していません。いつかしたいと思っっているのですが、最近は、結婚が危険な冒険みたいになっていまして」

「うーん……すると、独身男がふたりで結婚の手引書を書こうというのか……」

「はい。それで、その道の達人から助言をいただきたいと思ったのです」

カメラがまわりはじめる……。



マットとジェイスンの――

幸せな結婚に出会う1万2千マイルの旅

目次

プロローグ 5

イントロダクション――ぼくたちが大冒険に出た理由

祖父母夫婦は、なぜ結婚歴63年でもラブラブ？――マットの場合 14

ぼくらの世代は、結婚が怖い――ジェイスンの場合 25

1
運命の人だと、どうしてわかったのですか？

●ジェイスンの悩み● この人だと確信しては、ヘマをする。その繰り返し？

言葉の壁さえ超えるもの――アーガイルとマルタ◎シルトネヒト夫妻（結婚歴57年） 48

心のなかの声なき声^々が引き寄せた——バッドとジューン◎ホッジ夫妻（結婚歴51年）

61

2

どうやってお互いムカつかないようにしているのですか？

●マットの悩み●

相手に完全を求めるぼくは、不完全

76

私とあなたの^{キヤンドル}個性の火^々を消さない——ディックとモリー◎コウンスターム夫妻（結婚歴47年）

87

63年前に交わした2千通ものラブレターを、いま——

——エディーとルース◎エルコット夫妻（結婚歴63年）

98

3

困難に直面したとき、どうすればいいですか？

●ジェイスンの悩み●

結婚というバラのベッドにあるトゲが怖い

114

「わたしの夫を返して！」——夫につきつけた手紙——ジムとマリー◎フーテン夫妻（結婚歴54年）

128

愛に見切りをつけてはならない。何が起きても！

——テイルとコリーン◎ゴールドスミス夫妻（結婚歴50年）

138

4

どうすればロマンスの炎を燃やしつづけられるのですか？

●マットの悩み● セックスレスの結婚って……

154

子供たちより前に、ほくたちだけの 15分

——マーティンとドロシー◎メイスター夫妻（結婚歴47年）

166

すり減るほど聴いた私たちの《スターダスト》——アルとパール◎ストーン夫妻（結婚歴50年）

178

5

マンネリ状態から、どうやって脱出すればいいですか？

●ジェイソンの悩み● そこそこレベルが一生続く!? それは拷問

190

ほったらかしの尻にはまらない——サムとジュディー◎スミス夫妻（結婚歴42年）

200

心をさらけ出せない夫婦——ベリーとキャロリン◎エーレンシュタイン夫妻（結婚歴54年）

212

6

すばらしい結婚を可能にした「最大の秘訣」は何ですか？

●マットの悩み● 親しき仲のゞ見下し合いバトルゞ

224

誰の幸せをいちばん大事にするのか

——ジャックとドロシー◎マーニン夫妻（マットの祖父母、結婚歴63年）

235

7

生涯ずっと愛情を保ちつつづけるには、どうしたらいいですか？

●ジェイスンの悩み● 「愛せなくなるかも」という恐れ

250

犠牲？ それとも奉仕？——ジェリーとバツティ◎ヘンビーニアス夫妻（結婚歴51年）

262

究極のメモ・ゲーム——ダークとルーシー◎ダークスン夫妻（結婚歴58年）

278

結婚生活に悔いを残さないために大切なことは何ですか？

●マットの気つき● 一緒に旅したグランマ・ドロシーが見つけたもの 292

●ジェイスンの気つき● 89歳の元氣じいちゃんの恐るべき 心の持ちよう 306

ラスト・ダンスー——ジョーとミリー◎ロージィヒ夫妻（結婚歴65年）

314

独身男たちが得た宝物

すばらしい結婚は、勇気ある愛の積み重ね——ジェイスン

328

愛はほんとうにすべてに打ち勝つのだ——マット

332

訳者あとがき

338

イントロダクション——

ぼくたちが大冒険に出た理由



祖母夫婦は、なぜ結婚歴63年でもラブラブ？

——マットの場合

子供のころのぼくのお気に入りの映画は、ウォルト・ディズニーのアニメーション映画『ロビン・フッド』だった——ほんとうにもう数え切れないほど観た。なぜかって？ メイド・マリアンみたいな女の子を恋人にできるのは、ロビン・フッドのように勇敢で抜けない魅力的な英雄だけだ、という話が入っていたからだ。

ああ、メイド・マリアン（もちろん彼女はアニメの狐だったけど、最高にすてきなアニメの狐だった）。こちらもつられて笑いだしたくなるような、あのかわいらしい笑い声を聞くだけで、ぼくはメロメロになってしまった。バドミントンだってする（スポーツが得意というのもよかった）。ロビン・フッドとメイド・マリアンが夜中に滝の裏側を散歩する場面では、文字どおり、ぼくの胸は高鳴った。

ロビンはキスというご褒美を得るために、州長官とのアーチェリーシュリフの試合に勝たなければならぬというストーリーになっていたけど、結局は、愛がすべてに打ち勝つということなんだよね。10歳だったぼくは、それを素直に信じた。永遠の愛というものを、自分も

それを得られるのだということを、ぼくは一瞬たりと疑いはしなかった。〈それからはずっと幸せに暮らしましたとさ〉——それこそだれもが望んでいることではないか。

さて、それから数年後。中3の生物のテストの勉強をしていると、ママの声が沈黙を引き裂いた。ファミリー・ミーティングよ、と言っている。ということは、だれかがとつてもよいことをしたか、とつても悪いことをしたか、そのどちらかだということになる。家族は頑張つて期待以上の成績をおさめる者ばかりだったので、ぼくは悪いニュースよりもお祝いのほうに慣れていた。ところが、居間に足を踏み入れた瞬間、これは祝い事の雰囲気ではないな、とぼくにもわかった。

姉がソファの一方の端に座り、両親がもう一方の端に座っている。ママは泣いていた。涙をぬぐうとママは、〃何があるうと大丈夫だからね〃という目をしてぼくを見つめた。それはぼくをますます不安にするだけだった。いつもは道化になりきつて楽しませてくれるダッドの顔が、無表情のまま凍りついている。ママとダッドは体がふれ合わないようになんて離れて座っていた。

ママが言った。「あなたたちのダッドとわたしから発表することがあります——わたし